

救命救急医療学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Yamano S, Shimizu K, Ogura H, Hirose T, Hamasaki T, Shimazu T, Tasaki O. Low total cholesterol and high total bilirubin are associated with prognosis in patients with prolonged sepsis. *J Crit Care* 31(1):36-40, 2016. (IF: 2.588)
2. Shimizu Y, Yoshimine H, Nagayoshi M, Kadota K, Takahashi K, Izumino K, Inoue K, Maeda T. Height correlates with dyslipidemia in non-overweight middle-aged Japanese men. *J Physiol Anthropol*. 2016 Dec 6;35(1):29. (IF: 1.694)
3. Yamanashi H, Ngoc MQ, Huy TV, Suzuki M, Tsujino A, Toizumi M, Takahashi K, Thiem VD, Anh DD, Anh NT, Tho le H, Maeda T, Cox SE, Yoshida LM, Ariyoshi K. Population-Based Incidence Rates of First-Ever Stroke in Central Vietnam. *PLoS One*. 2016 Aug 11;11(8):e0160665. (IF: 3.057)
4. Shimizu Y, Yoshimine H, Nagayoshi M, Kadota K, Takahashi K, Izumino K, Inoue K, Maeda T. Short stature is an inflammatory disadvantage among middle-aged Japanese men. *Environ Health Prev Med*. 2016 Sep;21(5):361-367. (IF: 1.214)
5. Shimizu Y, Yoshimine H, Nagayoshi M, Kadota K, Takahashi K, Izumino K, Inoue K, Maeda T. Serum triglyceride levels in relation to high-density lipoprotein cholesterol (TG-HDL) ratios as an efficient tool to estimate the risk of sleep apnea syndrome in non-overweight Japanese men. *Environ Health Prev Med*. 2016 Sep;21(5):321-326. (IF: 1.214)
6. Iyama K, Ueki T, Yamano S, Tajima G, Inokuma T, Hirao T, Yamashita K, Nagatani A, Tasaki O: An adult case of laryngopharyngeal burn by drinking hot water. *Acute Medicine & Surgery* 13 SEP 2016, DOI: 10.1002/ams2.237

A-e

1. Goro Tajima, Tadahiko Shiozaki, Yoshihito Ogawa, Tomoya Hirose, Nobuto Mori, Tomohiro Ueki, Hiroo Izumino, Shuhei Yamano, Tomohito Hirao, Takamitsu Inokuma, Kazunori Yamashita, Osamu Tasaki: Correlation between Regional Cerebral Oxygen Saturation (rSO₂) and Arterial Blood Gas (ABG) during Cardiopulmonary Resuscitation. *Circulation Volume 134 A141160, Issue Supplement 1; November 11, 2016 / Abstracts From the American Heart Association 2016 Scientific Sessions and Resuscitation Science Symposium*

B 邦文

B-b

1. 廣瀬智也, 山本倫久, 小島将裕, 竹川良介, 明田幸宏, 田崎 修, 朝野和典, 嶋津岳士:【敗血症の病態生理 2016-私はこう考える-】敗血症における NETs の位置づけとその対策 *ICUとCCU* 40(9):619-624, 2016.
2. 田崎 修, 平尾朋仁, 竹田昭子, 上之郷眞木雄:【臓器提供促進のための最新の社会の動き】長崎県の臓器提供体制整備の取り組み *移植* 51(1):26-33, 2016.
3. 足立利幸, 金高賢悟, 米田 晃, 藤田文彦, 高槻光寿, 黒木 保, 江口 晋, 山野修平, 猪熊孝実, 田崎 修:広範囲な壊死部切除により救命し得たトイレ用酸性洗剤による消化管損傷の1例 *日本腹部救急医学会雑誌* 36(1):115-119, 2016.

B-c

1. 田島吾郎, 松本直也 救急医学・集中治療における基礎医学トピックス 救急・集中治療医学レビュー2016-'17, 364-371
2. 太田黒崇伸, 山野修平【栄養療法がわかる!できる! プレゼンのカリスマから学ぶ基本知識と症例問題で身につく実践力で、治療がグッとうまくいく!】(第1章)教えてほしかった栄養の基本 これだけは知っておきたい! 栄養状態の評価方法:P3096-3106 レジデントノート 増刊 17巻 17号. 羊土社. 東京. 2016

B-d

1. 田崎 修:気道熱傷の病態と治療 *長崎市医師会報* 50(10):12-16, 2016

B-e

1. 田島吾郎, 塩崎忠彦, 小川新史, 森 宣人, 上木智博, 泉野浩生, 山野修平, 猪熊孝実, 平尾朋仁, 山下和範, 田崎 修:院外心肺停止における心肺蘇生中の脳局所酸素飽和度と血液ガスの関係. *日本救急医学会雑誌* 27(9):89,2016
2. 田島吾郎, 梅原敬弘, 池松和哉, 田崎 修:全身性炎症における自然免疫受容体発現パターンによる感染症診断法. *日本救急医学会雑誌* 27(9):163,2016
3. 村橋志門, 田島吾郎, 井山慶大, 山下和範, 長谷敦子, 芦澤潔人, 田崎 修:2次救急時間外外来から高次搬送が必要となった症例群についての検討. *日本救急医学会雑誌* 27(9):146,2016
4. 山下 彩, 田島吾郎, 高谷智裕, 井山慶大, 上木智博, 山野修平, 猪熊孝実, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修:血中・尿中テトロドトキシン濃度を検討したフグ中毒の2症例. *日本救急医学会雑誌* 27(9):107,2016
5. 山野修平, 井山慶大, 猪熊孝実, 野崎義宏, 平尾朋仁, 田口憲士, 福島達也, 吉本 浩, 宮本俊之, 田崎 修:腹部外傷の Damage control surgery 後、Morel-Lavallee Lesion に感染をきたした一例. *日本外傷学会雑誌* 30巻 2号 Page269, 2016

6. 山野修平(長崎大学病院 救命救急センター), 上木智博, 井山慶大, 猪熊孝実, 田島吾郎, 平尾朋仁, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修:救命救急センター入院患者における亜鉛欠乏に関する検討. 日本集中治療医学会雑誌 23 巻 Suppl. Page507, 2016
7. 山野修平, 安藝敬生, 猪熊孝実, 山下和範, 長谷敦子, 田崎 修: LINE のグループトーク機能を活用した後方支援の有用性. 日本救急医学会雑誌 27 巻 9 号 Page360, 2016
8. 山野修平, 田島吾郎, 猪熊孝実, 野崎義宏, 平尾朋仁, 山下和範, 田崎 修:治療法の選択に苦慮した凝血性血胸の 1 例. 日本救急医学会雑誌 27 巻 9 号 Page569, 2016
9. 相良郁子, 三浦伊代, 田嶋真理子, 濱口利恵子, 松永典子, 樋口則英, 久松徳子, 三串伸哉, 泉野浩生, 山野修平, 世羅至子, 花田浩和, 藤田文彦, 安武 亨, 永田康浩: 医師になってからでは遅い!? 卒前から始める栄養教育の取り組み. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 31 巻 1 号 Page266, 2016
10. 松永亜希子, 吉岡佳世, 宮田佳之, 川上悦子, 田平直美, 山野修平, 田崎 修, 林田 咲, 梅田正博: 「経口摂取が出来ない患者に対する口腔ケア方法の検討」 口腔内洗浄と清拭の違い. 日本救急看護学会雑誌 18 巻 3 号 Page284, 2016
11. 平尾朋仁: 救急医の移植医療への関わり-長崎大学病院における救急の終末期患者への対応- 日本救急医学会雑誌 27(9): 55,2016
12. 平尾朋仁, 竹田昭子, 井山慶大, 上木智博, 山野修平, 高橋健介, 田島吾郎, 猪熊孝実, 野崎義宏, 山下和範, 田崎 修: 臓器提供の視点から終末期医療の脳死診断を再考する-脳死判定が抱える諸問題- 日本救急医学会雑誌 27(9): 470,2016

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	1	2	22

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
田崎 修・教授	Associate Editor	Acute Medicine & Surgery
田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会九州地方会
田崎 修・教授	評議員	日本外傷学会
田崎 修・教授	評議員	日本熱傷学会
田崎 修・教授	代表理事	長崎救急医学会
田崎 修・教授	世話人	日本熱傷学会九州地方会
田崎 修・教授	緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員長	長崎県
田崎 修・教授	保健医療対策協議会救急医療対策部会委員	長崎県
田崎 修・教授	ドクターヘリ運航調整委員会委員	長崎県
田崎 修・教授	長崎県メディカルコントロール協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	長崎地域メディカルコントロール協議会 副会長	長崎県
田崎 修・教授	長崎県移植医療推進協議会委員長	長崎県
山下和範・准教授	評議員	日本集団災害医学会
山下和範・准教授	評議員	日本蘇生学会
山下和範・准教授	委員	長崎市メディカルコントロール委員会
猪熊孝実・助教	評議員	日本腹部救急医学会
猪熊孝実・助教	評議員	日本 acute care surgery 学会
猪熊孝実・助教	評議員	日本消化器病学会九州支部

平尾朋仁・助教	学術評議員	日本脳神経外傷学会
平尾朋仁・助教	伊勢志摩サミット 救急医療チーム 首脳対応班	日本救急医療財団

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
田崎 修・教授	文部科学省	代表	基盤研究(B) シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御
田崎 修・教授	文部科学省	代表	挑戦的萌芽研究 低温ショック蛋白 RBM3 から展開する低温による炎症制御メカニズムの解明
田崎 修・教授	文部科学省	分担	基盤研修(B) プレホスピタルでの心肺蘇生時における脳循環の解明
田島吾郎・助教	文部科学省	代表	若手研究 (B) 自然免疫受容体発現のパターン解析による発熱の新規鑑別法の開発

その他

○特筆すべき事項

- ① 平尾朋仁, 上之郷眞木雄, 竹田昭子, 田崎修:「死亡退院調査からみえてきた臓器提供院内体制整備への課題」平成27年度佐世保市立総合病院臓器移植勉強会(2016年1月20日 佐世保市立総合病院)(招待講演)
- ② 平尾朋仁:「救急にまつわるよもやま話-長崎から-」平成28年度周南地区臨床カンファレンス(2016年9月2日 山口県下松市 笠戸島ハイツ)(招待講演)
- ③ 平尾朋仁, 竹田昭子, 田崎修:「臓器提供の実例を通して-救急医の立場から-」長崎県対馬病院臓器移植勉強会(2016年10月21日 長崎県対馬病院)(招待講演)